

全国で ひろがる声

日本共産党中央委員会
ホームページより

北海道

総決起大会 4.27

農協・経済団体・消費者・医師・知事・政党
——「オール北海道」でTPP反対の決意を共有

山形

JAグループなど
20団体で宣伝
反対の寄せ書き 4.19

福島

革新懇シンポジウム
2.6

共産党国会議員とともに農協や医師会などから
パネリストが参加

千葉

JA全中の宣伝 4.19



東京

全国食健連宣伝行動
1.6



神奈川

JA神奈川の宣伝
4.19



国会

超党派議員集会 4.24

共産党はもちろん、民主・自民・公明・社民
党派を超えて、反対議員が集会

新潟

佐渡で県民シンポ
3.25

農協のよびかけで、農業委員会、漁協、森林組合、医師会、
商工会、青年会議所などが賛同協力

滋賀

県民大集会 4.22

JA滋賀中央、県医師会、県町村会、共産党県委員会など
幅広い団体が集結

沖縄

県民集会 4.20

知事、県議会議長、県医師会長も“オール沖縄”で
TPP反対を発信

県医師会の会長も……

いま
言いたい
2012

私は確かに民主憲に期待しました。それは自民党政権があまりにもひどかったからです。マニフェスト（政権公約）で「コンクリートから人へ」というのですから、期待しますよ。しかし、今の野田政権はもう第三国民党政権野田派です。非常に落胆しています。

自民や維新でも

もし次の選挙で、自民党の安倍政権が誕生しても、なんら期待できないばかりか逆に不安です。総理大臣の職を投げ出した人です、経済の目



奈良県医師会長
塩見 俊次さん

由競争がすべてという新自由主義政策を再び押し進めるのであれば、日本の将来は非常に暗い。
大阪の橋下徹市長も目指すところは小泉路線、新自由主義路線だと思います。「小泉改革」をすすめた竹中平蔵氏を重用していることが物議っ

新自由主義では将来暗い

（環太平洋連携協定）への参加が必要ですが、お金のない人や、公的保険のきかない医療を認める混合診療の全面解禁をうたっていますが、これは国民健康保険制度を完全に破壊し、金もろけ主義の医療がまかり通ることになります。

その結果、開業医は「総合医」にされ、紹介状を書いたけになりかねません。総合医とは聞こえはいいですが、現在の小児科と専門医に安くて診てもらえる医療ではなくなり、米国資本のいったチエーン店の病院では、お金のある人にはいい医療をしましょう、となる。そうなるも私的保険

が必要ですが、お金のない人は私的保険は買えません。すべての医療を基本的に公的保険でカバーする国民健康保険制度は何としても守らなくてはならないし、さらなる改善が必要ですが、

共産党も努力を「社会保険のため」として消費税増税法が成立しました。医療は非課税とされ患者さんから消費税は取られないことになっています。医療機関は、医薬品や医療機器などすべての仕入れにかかる消費税をかぶっています。消費税が8%、10%になったときに、閉院を余儀なくされる病院が出てくるのは必至です。